

〔個人研究〕

翻刻 南條神興『護法急要辨』（二）

三 浦 周

本稿では、『大正大学綜合佛教研究所年報』第三十四号に引続き、浄土真宗大谷派の学僧、南條神興（1814-1887）の講義録である『護法急要辨』の翻刻をおこなう。

本書の書誌情報は以下の通りである。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 一、名称 | 護法急要辨 |
| 一、外題 | 直書（護法急要辨 全） |
| 一、法量 | 縦 24・8 cm 横 16・5 cm 三十一丁 |
| 一、表紙・装丁 | 原装・仮綴じ |
| 一、料紙・紙色 | 楮打紙・白色 |
| 一、刊本・写本の別 | 写本 |
| 一、書写者 | 益舟 |
| 一、年代 | 明治三年（1870） |
| 一、界線 | 無罫 一面十五行 |

一、紙背・張紙

なし

一、印記・図像

なし

一、所蔵

個人蔵（筆者）

本書は、明治三年（1870）二月二十七日から三月七日の間に九席開講された講義の筆録である（二月二十八日と三月四日は休講）が、本稿ではこのうち六席から九席までの翻刻をおこなう。

凡例

- 一、本書の翻刻にあたっては原文を尊重したが、校訂上の都合から以下の点を改めた。
- 一、改行は原文通りであるが、改頁に際しては一行あけてこれを示した。
- 一、合略字・合略仮名・変体仮名は適宜、正字・平仮名に改めた。
- 一、文中に句点（。）、読点（、）、並列点（・）を便宜加えた。
- 一、原文の欠損文字・空白は□で示し、字数が不明な際は「」で示した。
- 一、末梢文字には左傍に末梢符（ㄱ）を付し、末梢の文字が不明な場合は■で示した。
- 一、原文に明らかな誤りが認められる場合、訂正語句を右傍に（ ）を付して記入した。
- 一、原文の朱書き訂正は（朱、）を付した。

『護法急要辨』

六席

三月三日

前席ニ於テ皇大神ノ仏ノ權化ナルコトヲ明ニ附テ顯シ玉フ。

皇大神已ニ仏ノ化權ト説カラハ八幡宮モ是ニ準シテ

可知。大教光^(方広)如来智德經、如来今有此會中安住不動

ナリトイヘトモ、乃至或ハ為ニ轉輪ノ王ニ生スル法ヲ説キ、乃至

生^二人種^一法ヲ説クトアル。應仁天皇ハ此中人趣ニ生スル法

ヲ説クト云ニ当ル。釋迦ノコノ借^(借)ヲ弁スルトノ玉フト八幡宮ノ

我ハ是釋迦如来トノ玉フト相当ルナリ。菩薩瓔珞經ノ淨居天

品三十七^(八)ニ五道ノ中ニ入テ衆生ヲ教化シ不^レ壞^二法界^一而或成^二

梵天^一或成^二天身^一或成^二鬼神^一等トスル。已ニ天身トナリ

鬼身トナルトアルカラハ衆生ヲ哀玉フ。天神地祇ハ都テ仏ノ

化現ナリト説キ玉フ。教意ルニ、世間排仏ノ徒ハ仏ハ不淨物ニシテ

神ノ嫌ヒ玉フナリト云。若ルハ欽明天皇ノトキ仏法コノ國ニ

将来スルニ護國ノ善神何是ヲ禁止セスシテ反テ此ヲ

弘通令ルヤ。佛ヲ嫌フノ守屋ハ滅亡シタハ善神是ヲ

捨玉フニ非スヤ。佛ヲ信スル太子ハ天下ノ權ヲ取り玉フハ

護國神是ヲ助ケルニハアラスヤ。（弁意長者子所問經）弁意長者処同經云世間

愚痴人不信佛法以「愚意」毀滅セント欲シテ仏ニ无レ有レ神法ト

説テアリ。聖徳太子ハ佛典ハ西説ノ神道トノ玉フ。故ニ

佛ノ御威ヲ威神ト云、其徳ヲ神徳ト云、其智ヲ神智ト云、

其道ヲ神道ト云、其光ヲ神光ト云、其経ヲハ神典ト申。

是ヲ備ヘル道ナル故ニ佛法ノコトヲハ神道ト申。尔レハ羊肉

不_レ慕_レ蟻、蟻羊肉ヲシタフトアリ。仏ハ羊肉、神ハ蟻ナリ。

神ノ仏法ヲ慕玉フ処、彼亦夢ニモ不知シテ猥リニ仏法ヲ

儀スル。誠ニ可哀。上來四門分別中第二尋本迹本拠

一科弁シ了ル。第三論「方今政体」トハ、問云、諸ノ神明

ヲモテ仏ノ垂迹、菩薩ノ示現トシ玉フコト、当今神仏判然ノ

御政体ニ^{（傳）}戻ルニアラスヤ。答云、我朝ニ於テ本迹一体・

神仏一致ノ説ハ人皇四十代天武天皇ノ御宇白鳳年

中ニ泰澄大師又ハ役行者小角ナルモノ出テ是ヨリ出タ

コトテ、傳教・弘法ノ二大師ニ至テ兩部習合ノ神道ヲ

立、盛ニ此義ヲ談ス。是本仏説神宣基キ、皇太子ノ

神織憲法等ノ意ニヨルカ故ニ、学仏ノ諸宗、此義ニ

隨ハサルコト得ス。尔レハ若神仏判然ナラシメントナラ

シメントセハ仏經ヲ廢セ子ハナラス。若仏經ヲ立ヲクトキ

ハ、是非トモ神仏混淆ナラ令子ハナラス。尔ルニ、今ノ御政

体、神仏判然ノ御布告アリ乍ラ尔モ神儒仏ノ三教ヲ

双立シ玉フ。尔レハ、御政体カ始終務盾シ前后齟齬ス

ルニ似タリ。万國皇法ノ我朝ノ王道ニ於テカ様ナル不都合

ノ義アルヘキ道理ナシ。是ニヨテ情是ヲ思フニ、当今神仏

判然ノ御赴意^⑤ハ敢テ神仏一致ノ義ヲ遮セントスルニ

アラス。其行ヲ混淆スルコトヲ遮スル。其故ハ源道一致・

対機荊ニシテ、万法ハ本一如ナレトモ、縁ニ隨ヒ機ニ應シテ、

且ノ神道ト云、佛經ト云、儒道ト説テ、其教ヲ開キ、化ヲ

布キ益ヲ施ス。神儒仏三教且ク道ニ異スレハ、其経意ノ

全顯スル処ハ因果報應ノ理ヲ明ニシテ人ヲシテ惡ヲステ

善ニ赴令ルニアリ。彼ノ耶蘓徒類ノ云抹ナル因果ヲ揆无シテ

行ノ善惡因果ヲ不論、天主ノ喜怒憂憎ヲモテ禍

福ヲ判断シテ、堯舜ノ如キモ天主ヲ信セサルトキハ

清練地獄ニ入り、盜跡(賊)ノ如キ惡人モ天主ヲ信スレハ

天道ノ果報ヲウルト化スル。水火氷炭シテ同日ノ

論ニアラス。即儒テハ現在一世ノ因ヲ明シ、積善家有二余

慶一積不善家ニハ有二余殃一等トアリ。神道テハ現当

二世ノ因果ヲ説ク。正直ノモノハ尊天原(天)ニ生、邪(典)

ノモノハ根ノ國・ス底ツ國ニ入ルト云。佛法テハ三世因果

ヲ説テ、過去ノ業ヲ知ント欲セハ現在ノ果ヲミヨ、未

来ノ果ヲ知トセハ現在ノ因ヲミヨト説玉フ。其教ニ付テ

云ヘハ、儒道ノ正心誠意、神道ノ清淨正直、佛教ノ

自淨其意、教道ノ施説淺深アリトイヘトモ該シテ是

ヲ論スレハ勸善懲惡ノ外他心ナシ。故ニ太子憲

法ニモ懲惡勸善ハ古了典トノ玉フ。処説ノ教已如是。

能説人豈異ナランヤ。喩ヘハ一月万水ニ現スルニ、影ハ

大小方円ノ器ニ應スレトモ、玉兔ノ質ハ失ハサル如シ。一如

法界ヨリ形ヲ示現シテ、神トナリ、仏トナリ、聖人ト化シテ、

縁ニ隨テ教ヲ説ン。機ヲ感シテ物ニ應スレトモ、真源一味

ノ理体、惡ヲ止メ善ヲ行シ、終ニ一実一道ニ皈令ノ

教意ハ変スヘカラス。尔レハ本迹不二ノ深秘ニ達シ、神

仏一致ノ淵源ヲ尋ルトキハ、神相佛形ハ菩薩ニ一如、

昇ノ波瀾ニシテ是ヲ混淆セ[■]令ト欲ストイヘドモ

不能処ナリ。尔レトモ、様々ニ付テ是ヲ論スレハ、上ニ事ル^神

モノハ仏ヲ念スヘカラス、仏ニ皈スルモノハ神ニ事フヘカラス。

各々向ヲ定メ心ヲ其道ニセスハ其行ヲ全クスルコト不能。論

語^朱モ季路問事鬼神子曰事人不能何能事^二鬼

神^一トノ玉フ。現在一世ノ脩政治政ヲ教ル儒道スラ如

是。況ヤ遠ク未果ヲ期スル神仏二道ニ於テオヤ。

皇大神ノ御宣託ニモ佛法ノ息イキヲ隱シテ神祇ヲ

再拜シ奉レトノ玉フ。又涅槃經ニハ依ニ皈依スルモノハ

更ニ其余ノ諸天神ニ皈依セサレト覺ル。三教各真諦

ヲ按ルコトヲ誠メ道ヲ分テ往令ルモノハ、文殊般若ノ

一行三昧ノ如キ乱想ノ凡夫ヲシテ念ヲ一境ニ止メ

令ル。其行ヒヲ遂令為ナリ。加之、神祭佛事ニハ各々

其古例旧式アリテ、神ヲ祭ルニ佛事ノ法ヲモテ、

佛ニ事ルニ神祭ノ例ヲモテセハ、反テ不敬ノ罪ヲ

ウルモノアリ。此ヲモテ、今ノ朝廷、神祇ヲ崇敬シ

玉フ。思召テ祭ノ礼式ヲ糺為、故ニ其混淆ヲ遮シ、

僧徒ノ神ニ事禁シ玉フナリ。若本迹一致・源道

一味故ニ社人ニシテ仏ヲ念シタリ、仏者ニシテ神ニ事ルモノハ、

并ニ雜行ノ人ニシテ本ヲモテ末ヲ乱スト云モノナリ。若又神

仏判然・対機二別ヲヤト云テ、社人ハ佛ヲ破シ、仏者ハ神ヲナヒ

カシロニシ、垣ニ責クノアラソヒヲナスハ、末ヲモテ本ヲ失フト云モノナリ。

尔ルニ今ノ御政体、三道并へ立テ、國ヲ収メ玉フ助ケトナスハ

源道一致ノ義ニヨリ玉フ。又神仏判然トシテ各其道ヲ

專ニ令ルモノハ、対機崩ノ義ニヨリ玉フ。顧ルニ今家ノ

御勸化、全クコノ御政体ト不合ス。即モ条目第十通ノ

御文一ニ一切ノ神明ト申ハ乃至為ナリトスル。是ハ源道

一味ノ心ニ付テ神明ヲソリヤクニセス意ヲ躡マス。タハ、龜

畧ゴニセヌ耳ナラス、日夜ニソノ恩ヲ報シ徳ヲ仰キ

尊重スヘキコトヲ示シ玉フ。又一帖月十三通先モロ／＼ノ

雜行等、是ハ対機崩ノ義ニ約シテ其道ヲ專ニスヘキ

コトヲ示シ玉フ。全ク今日ノ王政ヲ帶テ教諭シ玉フニ

似タリ。凡ソ仏道ヲ行センモノハ余道ニツカフルコトヲ誠ム。

涅槃・般舟等ノ經說、牧牧拳ニイトマアラス。尔ルニ兩部習合ヲ

申シツノリ、僧ニシテ神ヲマツリ、又神ノ仏ニ皈依シ玉フ

モノ、鎌足公・菅菅蒸蒸承承ノ如キモノ又口クアリ。尔ルニ、

神仏判然ヲ偏執シテ社人ヲシテ仏ヲ破スルハ、タ、今ノ
王政ニ異スルノミナラス、大イニ今家ノ本意ニ背ク。当
今ノ政令、三道并ヘ立テ、而モ其混淆ヲ禁シ

玉フモノ□□此自家ノ病ニ当リ此ヲハコ、ロヨクスル
モノナリ。尔レハ源道一致ノ意ニヨラハ神仏一対ト云ヘシ。

対機荊ノ義ニヨルトキハ神仏判然ナラシメ子ハ

ナラス。 先

七席

三月四日休五日

前席ニ於テ神仏判然ノ御政体ニ付テ、源道一致・

対機客別ノ義弁シカケ、於テ、是ニ付テ、佛家ニ於テ

法義ヲ判尺スルニ絶対・相對ノ二門アリ。中ニ於テ絶

對門ト云ハ法流源ニ約シテ法界ヲ該羅シテ一法トシテ

余法ヲ見サルコトナリ。且ク神道ニ於テ此義ヲモテ分別スレハ、

日ノ照臨スル処皇化ヲ布クノ神施ノ如ク。天照皇ハ

即日輪ナルトキハ常ニ高天ニカヘリテ六合ヲ照覽シ玉フ

ヲモテ、其化、一須弥界ニ普遍シテ一有情トシテ

ヲ蒙^{徳沢}ラサルモノハナシ。本ヨリ佛・儒・老・^莊等、其

士ニ随ヒ其法ニ應シテ其名ヲ且ク異^スニストハ云ヘトモ、凡ソ

神曲^邪ヲ誠メ正直ヲ勸ムルノ教ヘハ都テハ神道ナラサル

ハナシ。即法^(マヤ)仏ノ自淨其意、儒道ノ正心誠意、コ

レナリ。故ニ上総ノ國伊賀保明神ノ宣託ニハ我國

ノ直^{ナラ}キコヽロヲ人ノ國ニハ明カナル徳ト名ケ佛ケト云ヘリ

トノ玉フ。此言ハ大和論語一ノ卷ニ出ル。又聖徳太

子ハ信徒憲法第十七条仏ハ富貴^{朱伏義}・孝・老ヲ化シ、竺乾

西方ヲ云、儒夫レ何ソ佛事ニアラサラン。佛ハ日月

星ヲ説キ、神ハ高天ニカヘリテ□□□□^{クンキヤウ}ストノ玉フ。佛

又是神道ナリ。佛ノ意ハ神ノ意ナリ。佛神儒、本ト

一道ナリ。故ニ嫌ラハスシテ兼学セヨ。兼学スレハ理ヲ尽ストノ玉フ。

尔レハ佛儒二道、神仏ニシテ、釋尊・孔聖、又異人ニアラス。尔ルニ、

世俗井蛙ノ見ヲモテ、日神ヲモテ唯タ我朝ノ主トシ、

仏法や儒道ヲハ外國ノ教トシテ、□世界ノ日神、日本ノ

仏儒タルコトヲ知リマセス。タトヘハ、人アリテ天上ノ月ヲ指サシテ

彼ハタ、我家ヲ照スノ月ナリト云ハ、人ミナ其愚蒙ヲ

笑^{ハサ}ルハナシ。夫忠孝節義、皇國ノ異使ニアラサルヤ。

仁順ノ節裂、本朝ノ大道ニアラサルヤ。苟クモ忠

孝仁順ヲモテ我朝ノ大道ナリトセハ、忠孝仁義ヲ

教ユルノ儒道、不仁不順ヲ誡ムルノ仏教ハ本ヨリ^本今

朝古有ノ神道ナリ。若是ヲ捨テ、外國ノ教ヘトセハ

皇國ノ風教全タカラス。尔レハ是仏儒二道ヲ

排スルニハアラス。己カ神道ヲ破フルコトニナル。故ニ吉田ノ

兼俱^友ハ我神明ハ天竺國ニシテハ独尊ト化生シ三世

ノ業ヲ説テ一切ノ衆生ヲ因縁^果スルコトヲ知ラ令、震

旦テハ儒道ヲ弘メテ仁義ノ五ヲ知令、四州ノ中ニ至リ玉ハサル

処ナシ。御鎮坐ハ此國ナリ。故ニ四方ノ國ニシテ弘メ教ヘ玉ヘル。

其法皆々本ニ皈ルノ理ニシテ今日本ニ傳リ、神儒仏、是

一神ノ法ナリト申シテアリ。能ク神道ノ旨ヲ得タリト云ヘシ。

尔ルニ神仏判然ノ一辺ヲ居執シテ佛儒二道ヲ敵トシ、

殊天ノ神化ヲ相シテ只我國ニシテ主宰タラ令ルモノハ、

宛モ神竜ヲ兔穴ニ縮ントスルノ妄仮託ニシテ、普天

ノ日神ヲモテ卒土ヲ利スルコト不能神トセント欲スル。不

敬コレヨリ大ナルハナシ。豈吾国ノ神民ト云ヤ。又仏法ヲモテ

判セハ、三千大千世界ヲモテ釋迦一仏ノ化教トスルトキハ、此中ニ流布

スル諸々善法ハ都テ仏教ナラサルハナシ。即儒道ヤ神道ハ

五乗ノ中テハ人天業、三福ノ中テハ世善ニシテ、朱次テ席ノ如ク五

戒十善ヲ開タモノ、且ク儒ト名ケ神ト名、其文ヲ異ニスレトモ、

諸惡莫作諸善奉行ノ七佛道誠ノ意ヲ出ス。是本

大集上下經ニヨルニ日天月天子ハ觀勢至二菩薩ノ

化現ニシテ、釋迦ノ目位キヤロシナ□□□陀仙人ノ安布シ玉フ処ナリ。空寂処問

經ニ順スルニ、孔・老・顧回顔ハ儒童・伽葉・光淨ノ三菩薩ノ變化ニシテ、

卑聖相ヨリテ一仏ノ化義ヲ扶ルモノナリ。尔レハ、道ニ九十

六種アリト云ヘトモ止惡行善ヲ教ルモノハ都テ仏教ナラサルハナシ。

又儒教ニ於テ絶對門ヲモテ分別スルコト、是ニ准知スヘシ。

如是約法絶對門ニヨルトキハ神儒仏互離シテ一ヲ

挙レハ三教全ク備ル。何ソ一致ニ僻執シテ是非ヲ争フヤ。

尔レトモ、約機相對門ニ付トキハ、各其有縁ノ教ヲ^{朱教}挙^版テ

直入ノ門ヲ定ムヘシ。此ニ於テハ三道判然トシテ混淆ナカラ

令、互ニ廢立ヲ存シテ其道ヲ專ニシテ修学スヘシ。ヨテ神

道テハ余道ヲ廢シテ唯一宗源ヲ唱、儒道テハ余教

ヲ廢シテ異端ト名ル。仏教ニ於テハ邪正對、内外對、^{朱聖}清淨

對、要仏對等ト廢立ニ重スアリト云ヘトモ、蓮師是ヲ該シテ

雜行雜修自力ヲ振スルトノ玉フ。如是通入ノ門

戸ヲ定ルトキハ三教且ク道ヲ令テ廢立取捨ヲ

論ストイヘトモ入リ了レハ互ニ口合シテ教トシテ廢捨スヘキナシ。今家ノ

教道、此意ヲ帶スル故ニ方今ノ御政令ヲ待スシテ、愚夫愚

婦ノ類ト云ヘトモ、一仏ヲ專ニシテ示モ神恩皇恩重シ仁

義忠孝ノ節義ヲ全クセント敬スル。彼ノ儒者類カ先

文字ヲ授ケテ仁義ノ首ヲ知令ル様ナル手狭キコトニ

非ス。尔レハ三教并立神仏判然ノ王政、我真宗ノ教義ヲ

咸特シ玉フ。源道一致・対機^体荊ノ宗教、王法ノ政体ヲ

扶助シ玉フ。王法・仏法一休^体ト云ハ此訳ナリ。問云、佛儒二道

ハ本外國ニ発スル。故ニ外國ノ人ニ於テハ有縁ノ教ト云ヘシ。

吾力朝ハ神國也。人民神明ニ縁アル故ニ神國ニ生ル、

コトヲ得タリ。尔レハ神道一教ニ於テ已ニ是何ソ仏儒

ヲ贅^{ゼイ}立シテ縁无縁ヲ論センヤ。答云、不尔。本朝ハ

神國故ニ全國ノ人民ミナ神道有縁ノ機ナリト云ハ、

天竺ハ佛國ナリ。桑國ミナ奉仏ノ人ナリトセンヤ。現ニ佛

在世、王舍城中ノ九億ノ人数、佛ノ化益ヲ見聞スル

モノハ説ノ三億ニスキスト申シテアル。其余ハミナ佛口於

テ无縁ノ機ナリ。況ヤ日神ハ皇國ニ生^{マシ}マスト云ヘル。其化、

普ク一須弥界ニ布玉フ。尔レハ、外國、何神化ニ縁ナシ

ト云ヤ。又支那・日本、佛生ノ國ニアラストイヘトモ、佛教一度
渡リテヨリ、上朝廷ヨリ初トシテ下万民ニ至ルマテ、靡

辺トシテ其風教ヲ向。是仏縁ナシト云ヤ。又衆生ノ生ヲ感スルニ、
其他ノ教ニヒカル、ニアラス。息ノ業力ニヨリテ生ヲ受ル。

此故ニ処々処々於テ其定リハナヒ。普ク六道流傳スル。

若教縁ニヨルト云ハ、鬼修畜ナトハ仏法ナシ。何ニヨリテ生
ス。尔レハ神國ニ生スル故ニ神道有縁ノ機トハ云難シ。有

縁无縁、自他供ニ難知。只其文ハ遇処ヲ有縁无縁

ヲ「」。尔ルニ、修多羅習信ヲ生スルコト不能ハ无宿善ニシテ

教ノ及ハサル処ナリ。若尔レハ、何レノ教竟モカノ堪ル処付テ

修学スヘキナリ。尔ルニ、機教時背ハ^{ヘマ}叵修^マ入。神道ハ

上古淳朴ノ機ニ対シテ設スル処ニシテ末世ノ機ニハ^{ヘマ}叵應^マ。

即素^{ヘマ}蓋^マ鳥尊^マハ甚タ^{ヘマ}僇慕^マナル処ナリト云ヘトモ、教ニ伏スルニ

至テハ其神ヲステ自身ノ罪惡ヲ拂ヒ玉フ。中々今

日ノ下機力与処ニ非ス。彼祓ト云ハ、佛家ニ云処ノ懺悔

ナリ。即三品懺悔ニ当ルナリ。尔レハ、上代大根ノ処作
ニシテ、当今ノ下機ノ企発処ニアラス。今コノ易行浄土ノ
一門ハ南无アミタ仏ヲ称レハ无始已来ノ罪業ヲ懺悔

スルニナリトアリテ、自身ノ罪ヲ懺悔シ、仏願ニ託シテ念
仏スレハ、彼ノ三品ノ懺悔ニ儘。諸罪消滅シテ現当ノ大

利益ヲ得ル。又儒道ノ仁義忠孝ハ人ノ体論ニシテ須臾
不可離道ナレトモ、云何セン当今濁惡ノ機性テハ戯才

達士ト云ハレシ人スラ一向其行ヲ巨トシスル。況ヤ愚婦

ニ於テヲヤ。尔ルニミタ弘願ノ一教ハ愚鈍ノ凡類ト云ヘトモ、信
徳ノ示令ル処、自ラ仁義ノ大道ニ叶、忠孝ノ節義ヲ

全クセント欲スル。謂ル不知不測、皇帝ノ法ニ叶フト云
モノ是ナリ。 先

八席

三月六日

前席ニ於テ方今神仏判然ノ御政体ヨリ今家ノ御宗教ニ
府合スル旨ヲ弁シ了レリ。問云、神國ニ生ヲ受ルモノハ神孫・神

民ニ非ハナシ。尔レハ儒門・佛徒トイヘトモ儘ク神勤ヲ本トスヘキナリ。然ルニ真宗一門、一向専念ヲ主張シテ神明ヲ祭ラ

サルモノハスコフル神州ノ國體ニモトルニアラスヤ。云何。答云、

皇國ノ人民ハ神明ヲ尊重スヘキハ勿論ナレトモ、信佛崇

儒ノ輩、儘ク神ヲ奉祠セヨトイヘトモ、國律アルコト

未タ是ヲ聞カス。帰テ其混^{コウ}□ヲ附シ報佛ノ輩ヲ

神ヲ拝スルコトヲ禁シ玉フ。又今家ノ一向専念ノ義ハ

後世ノ大事ヲ託スルニ付テノ義ナリ。本ヨリ現在衣

食住安穩ヲウルモノハ、儒ニ神恩皇德ヲモテノユヘニ、

日夜ニソノ恩ヲ念シ德ヲ報スルコトハ勿論ナリ。況ンヤ身ヲ

神國ニ託シ耳ニ西天ノ佛教ヲ聞クコトハ、全ク和光ノ

神恩、人化ノ皇德ノイタス処ユヘニ、改邪抄ニ生々受シ

六道ノ生ヨリモ等トアリ。殊ニ念佛行者崇スヘキハ神

恩皇德ナリ。散善義ニ学平者「」神儒佛

ノミ教アリト云ヘトモ有縁ノ一教ヲ取テ執心ノ帰宿スル処トシテ

□□□^{ホウコウ}ヲ定メ修学スヘキコトナリ。コノ故ヘニ真宗ニハ神祇ヲ祭ラサルナリ。是全ク今ノ王政ヲ祭ラサル義ニ合セサルニアラスヤ。古今不祭神明義ニ三義アリ。一二専修ノ

宗義ヲ以テノ故ニ。二ニ依主法禁令故ニ。三ニ為崇重神

明故ト云。コノ三義ヲモテ弁スレトモ、此ノ三義、今日ニ至テハ

共ニ外雜ヲ遮スルコトアタハス。マツ先ニ専修ノ宗義ヲモテ

故トハ、コノ宗ハ大經ノ一向專念ノ佛説ニヨテミタニ於テ

二佛ヲ顯ス。念佛ニ於テ余行ヲ雜ヘサルヲ宗体トス。

故ニ不祭神明ト云義ナリ。外雜ニ云ク専修ノ宗義トハ正ク

防雜ノ宗法ニシテ他ノ許サ、ル処ナリ。其故ハ佛法本梵

土ニヨコルト云ヘトモ、是ヲ他方ニ流布スルトキハ必スソノ土ノ

法訓國律ニ隨フヘキナリ。然ルニソノ神國ニアテ一向專修ヲ

称ヘ神明ヲ祭ラサルハ今朝ノ國体ニモトルニアラスヤ。爰ヲ

モテ汝力崇重スル上宮太子尺^{ツキ}氏憲法ノ第九条ニ一仏ニ

皈シ一法ニヨリテ悉地ヲ成ス。是仏典ノ一義ナリ。是ヲ

一行三昧ト名ク。即虚妄ニアラス。ソノ次ニ又大道ニアラス。
尺学^{セウガク}ニヲヒテ道トナス。王道ニ於テ利アラス。諸惡莫作修善奉
行自淨其意隨ノ教、大道ナリト申シテアリ。已ニミター一仏ニ皈シ
念仏一行ヲ專ニスル。是ヲ一行三昧ト名ル。是ハ王道ニ於テ
利アラストスル。王道ニ利益ナクンハ即國害ナリ。無用ノ長
物ナリ。速ニ断除シテ可ナリ。尔レハ專修ノ宗義ナル
ユヘニ神ヲマツラスト云義ハ成名シカタシ。次ニ依王法禁令
故トハ、是ハ歷朝ノ王政ニシハ、民屋^{ミヤ}シテヲヒテ神ヲマツ
ルコトヲ禁シ玉フ恒例アリ。是等王法ヲ守ルカユヘニ、当流ニ
ヲヒテ別ニ神祇ヲマツラスト云義カアリ。是又雜アリ。外
雜ニ云ク歷朝ノ禁令ハ神祇ヲ崇重スル余リ不淨
ノ民屋ニ於テ神ヲ勸請スルヲ禁シ玉フナリ。アヘテ

其教ヲ奉ナリ神祇ニ皈スルコトヲ遮スルニアラス。或ハ神子^{ミコヤ}神
主ノ輩々、漫リニ禍福^{ゴフク}ヲ説テ愚民ヲ狂惑スル淫
祠ヲ禁スルアリ。是ハ平淨^{ヘイセイ}天皇二年ニ淫祠^{インシ}ヲ禁シ玉フ

御徳アリ。或ハ浮仏ノ君ニシテ佛法ニ阿子ルノ創法ナルモノアリ。畢

竟歷朝ノ王政ハ是非得失ノ間ニアリテ基準のトスルニ

ハアラス。コノ故ニ神武□□□□ノ初ニ本キ宇内ヲ一專シ玉フ

カ方今ノ王道ナリ。何ソ御一新ノ今日ニ至テ歷朝ノ王法ヲ取テ

宗義ヲ成センヤ。三ニハ為崇重神威故トハ、モロ／＼神明ハ

不淨ヲ忍シキラヒ玉フ。尔ルニ民百姓ノ不淨ナル家ニヲヒテ神ヲ

祭ルハ返テ不^ス敬^敬ナリ。今家ニハ神威ヲ崇重センカ為ニ是ヲ

祭ラスト云義ナリ。外雜ニ云ク神明ノ不淨ヲ忍ミ玉フトハ、ソノ

源ハ、伊弉諾ノ尊、黄泉ニ至テ伊弉諾ノ尊ノ死骸ヲ

ミテ体タカ振レタリトテ水ニ入テ不淨ヲ拂ヒ玉フヲ法リ

トシテ、神ヲ祭ルニハ結妻^マ・別扞シテ身ノ不淨ヲ拂ヲ神

祭ノ通戒トスル。汝カ宗義ハ民屋不淨故ニ祭ラスト云ハ、

若シ高貴清淨ノ宗ニヲヒテ是ヲ祭ルハ妨ケナカラシヤ。又一向

専修ノ宗義ニ異セサルヤ。又雜行ニアラサルヤ。又神明ノ

キラヒ玉フハ身ノ不淨^トセンヤ。心ノ不淨トセンヤ。若身ノ

不淨ナリト云ハ、不尔。身ハ靈也。末ナリ。心ハ実也。本ナリ。神明ノ心、心、心、何ソソノ靈末ニヨリテ是ヲヘタテ玉ハン。故ニ八万宮（八万宮）

ノ神託ニ汚穢不淨ノ口ヲキラハスコトトス。身ノ不淨ハ皈テ

忍ミ玉フ処ニアラス。若心ノ不淨ト云ハ、タ、神明ノミナラス

罪ハ聖人可厭ノ法ナリトアレハ佛菩薩モ又深ク厭ヒ玉フ処ナリ。

尔ルニ、ソノ厭ヒ玉フ処ヲ慮リテ、帰セス、念セスシテヲルハ

佛意ニ應可セシヤ。神明ノ慈悲心モ亦尔リ。徒ニ

謙退ヲ事トシテ祭ラス、事ヘス、敬テ是ヲ遠ルモノ、何ソ

神明ノ感動アラシ。已ニ感動ナクンハ和光同塵モ亦

徒ラコトナリ。何時ニカ結縁ノ本意ヲ達センヤ。畢竟、自

身ノ不淨ヲ拂フハ能皈ノモノ、崇敬ヲ表トスルマテハ

所帰ノ神明ニヲヒテハ何ソソノ淨不淨ヲエラハン。

依之、対機蒞ノユヘニ神仏判然トシテ混淆ナカラシメ、各ソノ

道ヲ專ニシテ各ノ^ス学セ令ルカ一向專修ノ宗義ナリ。又

源道一味ユヘニ神仏迹異リトイヘトモ、儘ク蒼生ヲ

メクミ玉フニアリ。コ、ヲモテ常ニ慈恩ヲ念セシメ愚ラカニ

セサラ令ルヲ真宗ノ教義トスル。是全ク三教鼎立ノ

朝元ニ合セ、神仏判然ノ王政ニ合スルナリ。上来御文等ノ

尋常ノ化導ニヨリテ神明ノ心得ヲ弁スルコト如是シ。

更ニ広本ニ付テ宗ノ奥秘ヲ尋レハ、今宗ニ神明ヲ

マツラス、余道ニ事ヘサルハ甚タ深意アルナリ。 先

九席

三月七日満講

今家ニヲヒテ神明ヲ祭ラサルコト広本化巻ニ順シテ伺ヘハ甚タ

深由アリ。マツ化身上巻・本末二巻、若所明ノ法義ニ付テ判スレハ、

三條ト分ル。初対^二浄土異流^一成^二一向専念ノ宗義^一是ハ本巻ノ初ヨリ真門下ノ終マテ

次ニ対^二聖道偏執^一立^二肉食妻帯ノ宗風^一是ハ本巻ノ対千口マテ是ナリ口終

対^二外教邪執^一顯^二専修念仏ノ宗則^一末巻ノ所口是ナリ口前ノ二科ハ今ノ

所論ニアラス。第三科ハ余道ノ偏執ニ対シテ浄土真宗ノ軌則ヲ明シ玉フ。

ソノ意ハ日月星宿天地鬼神ハ人間ヲ養フノ父母ナリ。

是ヲ忽諸スヘカラス。仁義道德ハ人間ヲ渡ルノ道路ナリ。

且クモ離レラレヌモノナリ。然ルニ、念仏行者ハ信徳ノ然ラ令ル
処ヲ自ラ天地ノ恩ヲ知り仁義ノ道ニ叶フナリ。今其徳ヲ

挙テ放逸ヲ戒ル一宗ノ掟トシ玉フ。此掟ハ皈仏ノ信

徳ヨリ顯ハル、処故、帰仏口根本、掟ハ枝葉ナリ。尔ルニ、邪

偽異教ノ輩々、唯其枝葉ヲ取テ根本ト廢スルユヘ二十二

部經ノ論ノ十部ノ尺一部ノ外典合シテ廿四部ヲ

引テ此ヲ教戒シ玉フ。中ニ於テ、初ノ十二部ハ佛教ニヨリテ

真偽ヲ勘發スル。后十二部ハ論尺ヲ引テ外執ヲ教戒シ玉フ。

初ニ仏教ニヨリテ真偽ヲ勘發スルトハ、且ク内外対々約シテ内ノ

仏教ハ正真ノ法ナリ、外ノ神儒等ハ邪偽ノ教ナリト一実

涅槃ヲ指ス。出世間ノ善法ヲモテ正道トシ、輪廻ノ果報

ニ止ル世間ノ善法ヲモテ邪蹴トシ玉フ。即梁武帝ノ

捨道ノ文ニイヘル如ク。老子・周公・孔子、是如来ノ弟子ニシテ
化ヲナストイヘトモ已ニ邪ナリ。唯是世間ノ善ナリ。反夫ヲヘタ
テ聖トナスコトアタワストアリ。天地鬼神ヲ初トシテ老子・

孔子等、佛菩薩ノ化現ナリトイヘトモ、其道ヲ云トキハ有口人天不実ノ善ナリ。即老子玄虚仲一、孔子ノ四十善礼等、是ミナ誘俗権方ニシテ、其本意一佛ニ帰セ令ルニアリ。

尔ルニ其本ヲ失フテ末ニ付テ奉事スル也。是邪偽ナリト

邪正ヲ勘発スヘシハ、引経、彼ノ大意タル。次ニ論下ノ処

引ハ正ク邪偽異執ヲ教戒スル。其意ハ外教ノ奉スルハ多ク

邪ニシテ惡鬼ニアリ。此故ニ其行ヒ又邪等ニシテ或ハモノ、命ヲ

取テ神ニ具ヘタリ。已ニ私シニテ人ノ難義スルコトヲ祈リタリ。

是ミナ福ヲ求メテ禍ヲウル。甚タ顛倒ナル所行テ、已ニ仁ニ

背キ義ニ背ク。何ソコレヲ道トイハント教戒シ玉フ。尔レハ、迷行

ノ者ニ対シテ邪正ノ道路ヲ弁スルヲ一卷ノ大意トスル。是等ノ

処明ニ順スル。今家ニ於テ天地鬼祇ヲ判スルニ具ニ二意アリ。

一者約^二内証、二者約^三示道。コノ内証・示道ノ名目ハ持名抄ニ

出ル。初内証門トハ、日月星宿天神地祇ハスヘテミナ

諸仏菩薩ノ變化ニシテ本師ミタノ利益ヲ助ルモノニシテ其本

意ハ仏ニ皈セ令ルニアリ。又孔・老・顔回等モ又菩薩ノ變化ニシテ且ク世間ノ善ヲ説テ人ヲ誘フ。叶動ニ其道ニ入ルモノハ

佛ニ皈スルヲモテ本意トスル。尔ルニ、人其教ヘノ本意ヲ弁ヘス、其道ニ附着シテ返テ佛法ヲスツル。此故ニ邪偽異執

ナリト顯シ玉フ。即大集經・四域經・空易所聞經ヲ引ク

モノ是ナリ。御傳抄・諸神本懷集及御文等、神明

ノ取扱ハコノ意ニヨルナリ。二ニ約示道門トハ、天神地祇ハ

内証ハ知ルヘカラストイヘトモ、示現ノ表ト云トキハ世間ノ善根ニ

止ステ、轉迷開悟ノ教ニアラス。皆是九十九種ノ外道ニ属

スル。尔レハ学佛ノ徒、歸スヘキ処ニアラス。況ンヤ鬼神ト

云モノハ五趣ヲモテ判スレハガキノ所棋ナリ。ガキト云ヘハ

トテ人皆雪隠ノ虫ノヤウニ思ヘトモ左ニアラス。(正法念處經)正法念經ニ

ヨルニ、ガキニモ三十六種アリテ、中ニハ福德アリ、大力アリ、智恵アリ、

神通アリ等ノモノ、甚タ果報ノ勝レタルモノアリ。苟クモ人

趣ノ生ヲ受ルモノカガキヤ畜生ニ奉事スル道理ナシ。ケレトモ

佛菩薩ノ變化ナリト云ハ、佛ノ變化ハ普ク五種ニ通スルカユヘニ

猫ヤ犬マテニモ皈敬セ子ハナラヌナリ。何ソタ、神明ニカキラ

ンヤ。尔レハ内証シテ佛菩薩ニモセヨ鬼神ト現スレハ鬼神ナリ。夫ニ

事ヘヌトテ腹ヲ立テ玉フ道理ナシ。且又神ト云ニモ善惡アリテ、

誤リテ惡神ニ事レハ、善神是ヲ遠クルコト百由旬、若

善神ノ御守リナクンハ、本願藥師經ノ如ク、延年ヲ求ント

欲シテ横死ヲ得、福ヲ乞テ禍ヲ招キ、罪ヲ作テ惡道ニ

墮スルト申シテアル。然ルニ人間ノ眼力テハソノ善惡ヲ弁スル

コトアタハス。尔レハ、サハラヌ神ニタ、リナシ。概シテ余道ニ事ルハ

是邪偽ナリト示シ玉フノコ、ロナリ。即首楞嚴等ノ諸經ヲ

引テ能皈ノ邪正ヲ判別シ玉フモノ是ナリ。述懷讚・步

船抄等、コノ意ニヨリ玉フ。有人ノ弁ニハ、是ハ隨自實義・

徳他方便ノ二門ヲモテ是ヲ弁シテ、化卷ノ処明ハ隨自實義

門ニヨリテ、一切ノ神明、孔・老等ヲハ概シテ邪偽異執ナリ

トスル。又御傳抄ヤ御文等ハ隨他方便門ニヨリテ和光ノ

垂迹トスト弁シタハ穩カナラス。其故ハ化卷ノ中ニ已ニ大

集經・須弥四域經ヲ引テアリ。是ハ其内証ニ約シテ仏

菩薩ノ化現ナルコトヲ顯ス。尔ルニ、是ヲ邪偽ナリト判シ玉フハ

神儒ノ教ヘヲ直ニ邪也トスルニハアラス。其道ニ止リテ教ノ本

意ヲ失フユヘ邪偽異執トシ玉フ。本ヨリ其教ヘヲ論スレハ、

仏法中ノ世善ニシテ人天ノ由漸ナレハ自ラ佛利ニ叶フテアル。

何ソ邪ナリト云ハンヤ。其事具ニ御処引ノ弁正論ニ顯タリ。

又御文等ヲモテ隨他方便ノ化導ト云ハ甚タ非ナリ。日月

星宿等ハ□□□□□菩薩、却初ニヲヒテ安布シ玉フ処ナリ。又

梵天帝ノ尺ヲ初トシテ諸天善神佛法ヲ護持セント

スル。過去七佛ノ時分ヨリ佛々ノ附屬ヲ受ケ玉フ

コト、御処引ノ大集經ニミヘタリ。御文等ハコノ御指南ニ

ヨリ玉フ。何ソ方便証他ノ説ト云ハンヤ。今神道・儒道、内証・

示道ノ二門アレトモ、概シテ仏ニ皈スルヲハ本意トスルナリ。尔ルニ、

洛都儒林、迷_レ行惑_レ教テ、此本意ヲ亡失シテ、邪正ノ

道路ヲ弁ヘスシテ、販スヘキ佛道ニ販セス、事フマシ

キ余道ニ事フ。独リ儒林ノミナラス諸寺ノ尺門^(三)、又

尔リ。凡ソ仏ニ販スルモノハ天神地祇ニ事フヘカラス。

コレニ涅槃・船舟等ノ説、明ニ是ヲ示シテ、故ニ天台ノ

遁或^(傳志)ノ西方畧傳ノ序文ニ子シコロニ是ヲ戒メテアリ。

況ンヤ専修念仏ノ行者、天地鬼神ニ事フルコトハ

邪中ノ邪ナリ。此故ニ善導ハ法事讃ニ嚴ク是ヲ戒メ玉フ。

元且^(三)テハ選択ノ二行章ニミタヲ除テ一切ノ仏菩薩

及ヒ諸天鬼神ヲ礼称讃供スルモノ皆雜行ナリト

戒メ玉フ。又和讃二卷・浄土畧抄ニモ子シコロニ

念仏ノ行者、鬼神ヲ念スルノ道理ナキコトヲ明ス。此故ニ、

吾祖、今經論ニ入二十四部ヲ引テ是ヲ教戒シ玉フカ

化卷ノ処明ナリ。尔レハ問云ク、古徳方カ神明ニ事ヘルハ、アヘテ

現世ノ寿神ノ為ニハアラス。タ、和光ノ垂迹ヲ遂テナリ。

砂石集ニ所謂ル三井寺ノ公顯僧正、毎朝一室ニ

入リテ何カ修行スルヲミルニ神々ノ名ヲハ安置シテ

神道者カキル淨衣ヲツケテ^{ヘイシ}□□取テ自念スル。或人カ

何事ヲ^キ□念スルト問ヘハ、其人云ク、神々ハミナ仏菩薩ノ

權化ナリ。衆生結縁ノ垂迹ナレハ遠ヒ仏菩薩ヲ念スルヨリハ

近キ神々ヲ念スルカマンナリト云ハレタ。如是キ后生菩薩ノ

為ニ神明ニ皈スルハ神明ノ本意ヲ失ハサルユヘニ邪偽

異執ニアラサルニアラス。云何。答云ク、是又邪正ノ道

路ヲ弁ヘサルナリ。タトヒ佛ノ權化タルニモセヨ、鬼神ト現スル

ハ鬼神ナリ。本ヨリ其道ヲ云ヘハ、有口人天所起ノ

不実功德ニ止リテ出離生死ヲ能クスル教ヘニアラス。故ニ

持名抄末ニマテモ、内証ハ知ラス、マツ示道ノ表ハ皆是

輪廻ノ報果、猶又九十九種ノ外道ノ内ナリ。佛

道ヲ行セシモノ、是ヲ事フトスヘカラスト申シテアル。彼公顯僧

正ト云ハ択集破別ノ淨土決疑抄ヲ書タル公胤カ

師匠ナリ。已ニ師匠ノ行状宜哉、公胤、択集ニヲヒテ疑

ヲ起スコトヲ、コノ此代ニ於テハ諸宗ノ大徳トスルナリ。如是、実ニ内ハ外道、外ハ佛道。況ンヤ在家ノ愚婦ニヲヒテヲヤ。出離生死ノ本意ヲ忘レテ、佛菩薩ヲ念シ天神

地祇ヲ祈ルノモ、皆現在ノ利益ニ止リテヲル。如是キ此代ニ当リテ一向専修ヲ弘通シ玉フ元且^(ツキ)吾且^(ミヅ)ノ御苦労、

実ニ思ヒヤラルヽナリ。今邪偽トイヒ異執ト云。其言スキタ

ルニ似タリト云ヘトモ、専修念仏ノ徒弟ヲシテ自教ヲ専ニシテ、

念ヲ余道ニカケシメサルノ老婆心忤テ尊化スヘキナリ。前

来、御發起ニ任セ今家ノ神内ノ取扱ヒ弁述ニ

及フコト如是シ。マツコレマテナリ。

(終)

(大正大学綜合仏教研究所研究員)